
いしかりの家計簿

A Housekeeping Book of Ishikari City



石狩市

1 はじめに

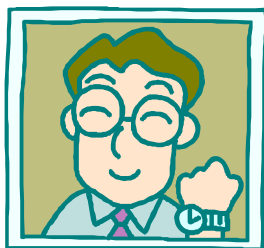
道内において財政破綻したまちが発生し、また破綻寸前といわれるまちも複数出てくる中、本市も当初予算において、人件費のカットを始め様々な経費の削減・凍結を行うなど、痛みを伴う作業を行って参りました。

しかし、そのような厳しい難局を乗り越えても、まだ赤字体質から脱却できていないことから、平成19年から5年間で収支バランスの均衡を図る、市独自の「財政再建計画」を策定しました。

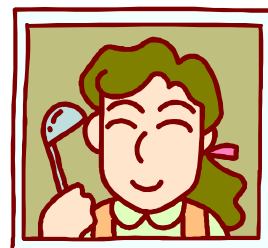
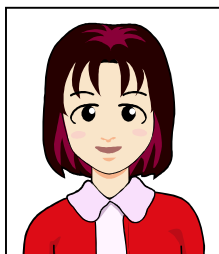
今後、石狩市が真に自立し、市民の皆様方にとって暮らしやすいまちになっていくため、市職員が知恵を結集し、改善に向け努力をしております。市民の皆様方には、この「いしかりの家計簿」をご覧ください、現在本市がおかれている状況を確認していただければと思います。

2 家族構成

ここでは、市の財政をあるご家庭の家計に例えてご説明いたします。なお、その家庭は、下記のとおり市郎さんと市子さんのご夫婦と子ども3人(長女特会さん・長男市太郎君・次男市之介君)の5人で構成されています。



夫：市郎さん
41歳の会社員



妻：市子さん
38歳の専業主婦














とくえ
長女：特会さん
19歳の大学1年生
で、現在一人暮らし

長男：市太郎くん 次男：市之介くん
産まれたばかりの双子の兄弟

とくえ
特会さんの名前の由来 ... 特定の事業の歳入・歳出を一般会計と区別するために特別会計を設置できます。市では、平成18年度時点で国民健康保険などの11の特別会計を設置しています。

なお、次の会話に出てくる金額は、平成18年度の市の決算額を人口(平成19年3月末：61,328人)で割ったものです。

3 ある日の会話

	お父さん、お母さん。うちの家計の状況、少しは良くなった？
	特会。いつも不安な思いばかりさせているね～。でも、お父さんの収入も少しずつだが、改善されてきているよ。
	先月（平成18年度）の給料の内訳はいくらだったの？
	確か基本給（市税などの自主財源 ₁ ）は15万5千円、諸手当（国・道支出金や地方交付税などの依存財源 ₁ ）は18万6千円で、合計34万1千円だったな。
	その他に生活費に充てるために3万1千円ローンを組んで、それでも足りなくて貯金を8千円おろしたわね。つまり、我が家の先月（平成18年度）の借金を含めた収入は、38万になるわね。
	おお！2ヶ月前から見ると大分節約しているんじゃないの？ <u>借金の額も貯金を下ろした額も減ってるよ</u> ！
	確かに、2ヶ月前から見ると借金や貯金の取り崩しをせずに済んでいるけど、それは、2ヶ月前が出産という特別な月だったからそう見えるだけじゃないの？
	お母さんは相変わらず鋭いね～。逆に、支出の方はどうだったのかな？
	ちょっと待って。家計簿を見るから。えーと、食費（人件費 ₃ ）が7万2千円、教育費・医療費（扶助費 ₃ ）が3万9千円、ローン返済（公債費 ₃ ）が6万6千円、光熱水費（物件費 ₃ ）が5万1千円、家の修繕費（維持補修費 ₃ ）が1万4千円、サークル等各種会費（補助費等 ₃ ）が4万6千円、特会への仕送り（繰出金 ₃ ）が4万4千円、テレビの購入（建設事業費 ₃ ）が3万9千円、貯金（積立金 ₃ ）が1万円、株式投資（投資及び出資金 ₃ ）が6千円で、合計で37万8千円だったわ。
	うんうん、やっぱり我が家の家計は結構良くなってきているんじゃないのかな。これも日々の努力の成果...
	お父さん！！何を悠長なことを言っているの！？今が一番頑張り時なのに！！！！
	ということは、まだ我家には問題がいっぱいあるってことかな...
	そのとおりよ。先月は、除雪費があまりかからなかったり、お父さんの諸手当が増えてくれたりと、当初想定していた収支よりも良い結果になったから良く見えるけれど、本質的な構造はそれほど変わっていないんだから！

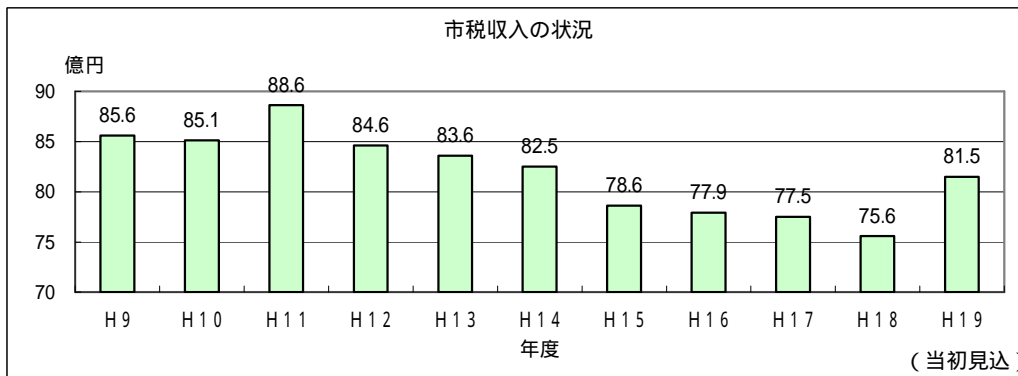
1 自主財源と依存財源

自主財源とは、市税、使用料・手数料、諸収入など、市がみずから直接調達できるお金のことであるのに対し、依存財源とは、国庫支出金、道支出金、地方交付税などのように、国や道などに依存している財源をいいます。

また、依存財源のうち、普通交付税については、合併後10年間(石狩市の場合H18～H27)に限り、旧3市村が合併していなかった場合にそれぞれがもらえていたと考えられる交付税を合算した額がもらえます(しかし、11年目(H28)以降については5年間で段階的にその額が引き下げられていきます)。

1 自主財源(市税)の推移

自主財源の大部分を占める市税は、市が自主的にまちづくりを進めるうえで、重要な役割を果たしていますが、平成11年度をピークに減少し続けていました。しかし、三位一体の改革による国からの税源移譲(所得税 住民税)が平成19年度から行われることにより、19年は税収が増収へと転じています(ただし、これまで国から税源移譲分として譲与されていた所得譲与税譲与金は、廃止され、また税収の伸び分が交付税で減となるため、歳入総額では前年とほぼ同額となる予定です)。

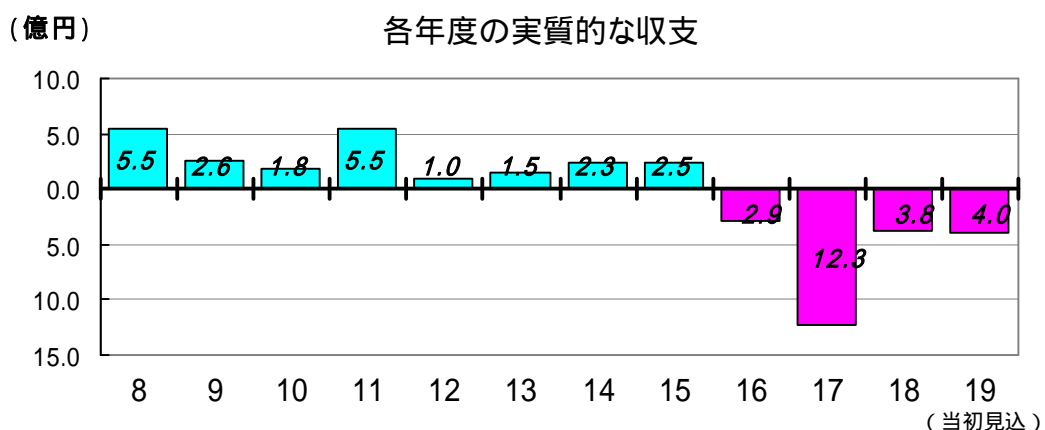


注：数値は旧3市村合算値










2 預金の取り崩し・借金

家庭における預金を市では基金と呼んでいます。その種類には年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金、地方債の元利償還金の財源に充てるための減債基金、合併まちづくり基金など特定目的のための基金があります。

財政調整基金については、すでに底をついています。そのため、現在は本来特定の目的のために利用する他の基金から一時的にお金を借りて、歳入の補てんを行っておりますが、その基金の現金もほとんど底をついているため、今後は預金に頼れない状況になっております。



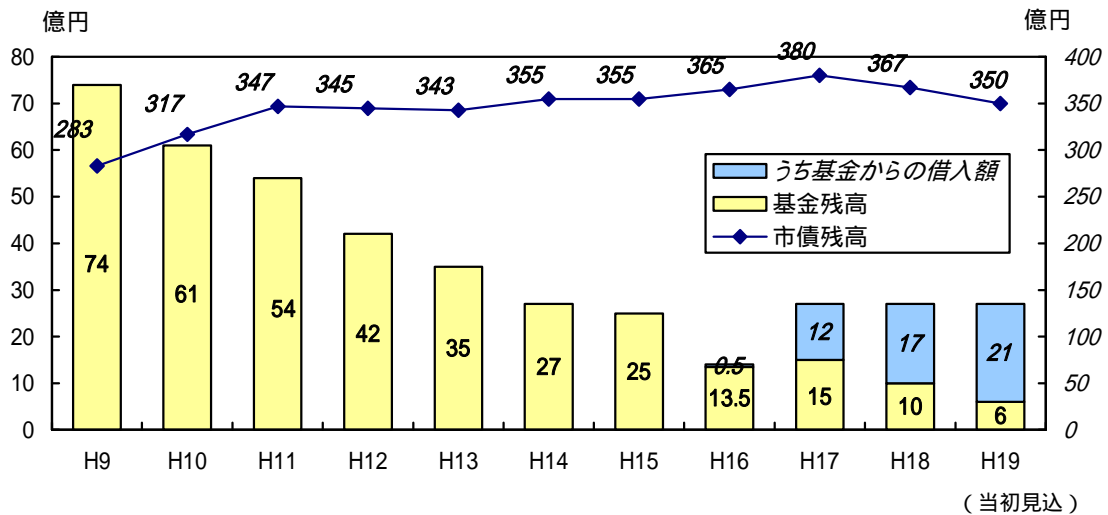
注 上記のグラフは基金の取崩しなどを行わなかった場合の実質的な収支状況

	そっか～…。もし、先月とは逆に悪い方に収支が進んでしまったら、対応できる体力が我家の家計にはないよな～。
	めずらしく、正しい分析が出来ているわ、お父さん。だから、 <u>これから</u> の5ヶ月間で、我家の家計の基礎体力を徹底的につける計画を実行することにしたのよ ₄ !!
	5ヶ月で～！？これまでも結構頑張ってきたけど、もっと頑張らないとだめなのかい？
	この5カ月間は、明確な目標をもち、期間終了後には弾力性のある家計にするのよ！
	よ～し！！...で、その目標の中身とは一体どんなものなの？。
	<p>支出面については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出費の内容を全て点検し、本当に必要かどうかを常にチェックする。 ・ ローンを組まなければならない出費については、極力最低限度にとどめる。 <p>等を中心に取り組むの。</p> <p>また収入面についても、お父さんの収入のアップはもちろんのことだけど、他にも我家で使っていない財産をオークション等でどんどん売って生活の足しにするのよ！</p>
	私ももちろん協力するわ。この計画はなによりも私たち家族の意識が変わらなければ達成されないからね。
	いつもすまないな、特会。
	いいのよ。5ヵ月後に笑えるように頑張ろうね！お父さん、お母さん！！

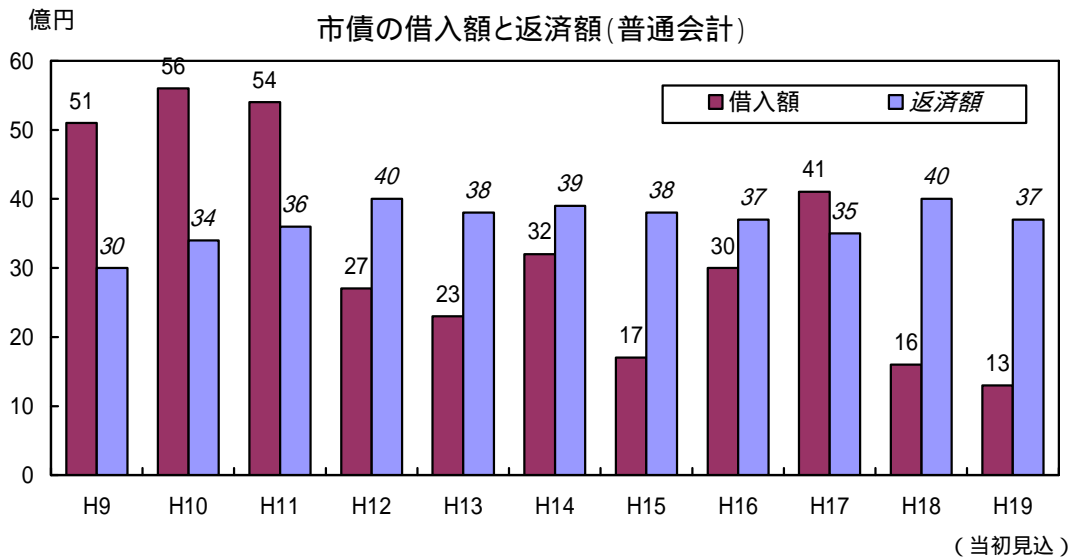
市の借金については、地方全体の財政状況の悪化に伴う財源対策などにより、近年は増加傾向にありました。また、北石狩衛生センターが本市の組織に吸収されたことにより、センター分の公債費が上乘せになっており、市民1人当たりの残高は約61万円になっております。

しかし、平成18年に行った市債借換や、新規発行額の抑制などにより残高は減少に転じました。今後も財政再建計画に則り、新発債の発行が抑制されることから、この減少基調は継続していきます。

基金残高と市債残高(普通会計)の推移



市債の借入額と返済額(普通会計)



3 人件費、扶助費、公債費？

市の支出を性質別に分類したときに用いられる経費が、人件費、扶助費、公債費などです。

これらの用語は、家庭においては普段使われていないものが多いことから、「いしかりの家計簿」では人件費を食費、扶助費を教育費・医療費、公債費をローン返済などのように置き換えています。

なお、人件費などの説明は次のとおりです。

経費区分	内 容
人 件 費	職員の給料や手当及び議員報酬などの経費。
扶 助 費	社会保障制度の一環として、生活困窮者、児童、老人、心身障がい者などを援助するための経費。
公 債 費	借入金の元金や利息を支払う経費。
物 件 費	消耗品や旅費、公共施設の維持・運営などの委託経費。
維持補修費	公共施設の補修などの経費。
補助費等	様々な団体などへの補助金、港や消防など市町村等の事務の一部を共同で処理するために設立された組合への負担金などの経費。
繰 出 金	国民健康保険事業や下水道事業などの特別会計に支出する経費。
建設事業費	道路、公園、学校等の公共施設を建設するための経費。
積 立 金	収支不足を補てんする基金や、公共施設の建設など、特定の目的のための基金への積立金。
投資及び出資金	財団法人などへの出資などのための経費。

4 基礎体力を徹底的につける計画とは？

本市では、これまで財政構造改革を積極的に推し進めるなど、財政構造の健全化に取り組んで参りましたが、市税と地方交付税の大幅な落ち込みにより、恒常的な財源不足に陥っています(上記『各年度の実質的な収支』参照)。

そこで19～23年度の5年間で、収支バランスを黒字化に改善することを目標とする『石狩市財政再建計画』を策定しました。

本計画は、全事業の見直しや管理経費の削減、投資的事業の厳選等7つの基本戦略を柱に、徹底した財政構造の改革を推し進めることを目的としております。詳しくは別紙『石狩市財政再建計画』をご覧ください。

【数値目標】

項 目	目 標 値	18年度(速報値)
経常収支比率	90%未満	92.8%
市債残高(人口1人当たり)	50万円未満	61万円
実質公債費比率	18%未満	20.4%

経常収支比率・実質公債費比率

経常収支比率～人件費、扶助費、公債費など毎年経常的に支出される特定の財源をもたない経費を、毎年経常的に収入される一般財源で割った比率。低いほど臨時的な経費にまわす財源を確保できることになり、高いほど経常的な経費が財政を圧迫し、財政構造の弾力性が低いということになります。

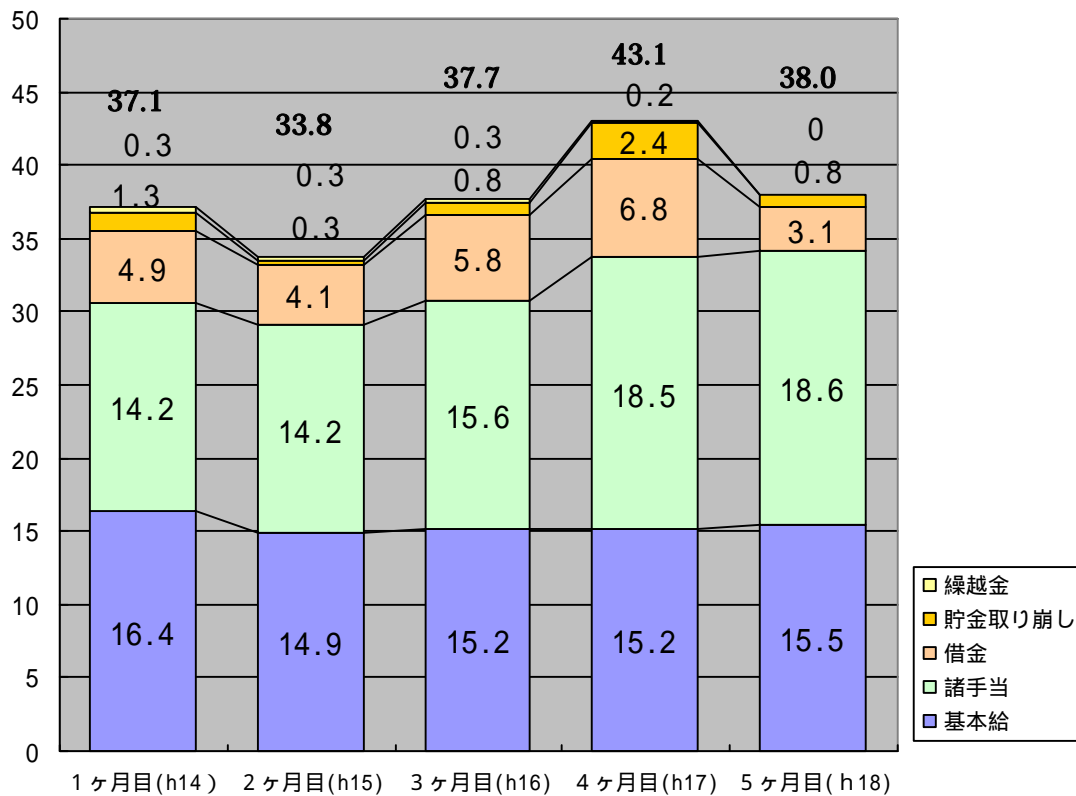
実質公債費比率～標準的な一般財源に対する公債費相当額(公営企業繰出金、一部事務組合負担金及び債務負担行為による支出額中の公債費に準じる経費を含む。)の割合。

～家計簿をつけ始めてからの収入・支出の推移～

【収入の部】

収入(合計)

(単位：万円)



注：1～3ヶ月目の数値は旧石狩市のみ、4ヶ月目以降の数値は合併後数値



(お父さんから一言)

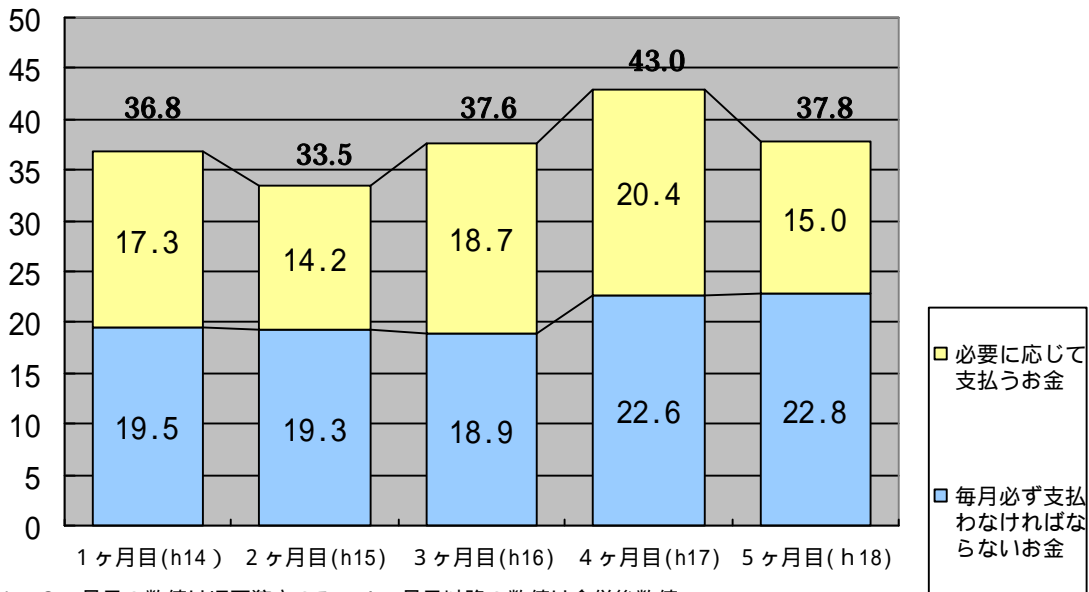
先月は、新たにごみ処理に関する収入が増えたため、基本給が増えた形になります。また、諸手当については先月とほぼ同額の水準となりました。

今月からは、諸手当としてもらっていた手当の一部が基本給に加算されるため(税源移譲)先月比では基本給の割合が高くなるのが予想されます。しかし、全体の収入額は何もしなければ減少していく可能性が高いことから、お母さんが言っていた計画に沿って、収入が減らないように頑張ります!!

【支出の部】

支出額(合計)

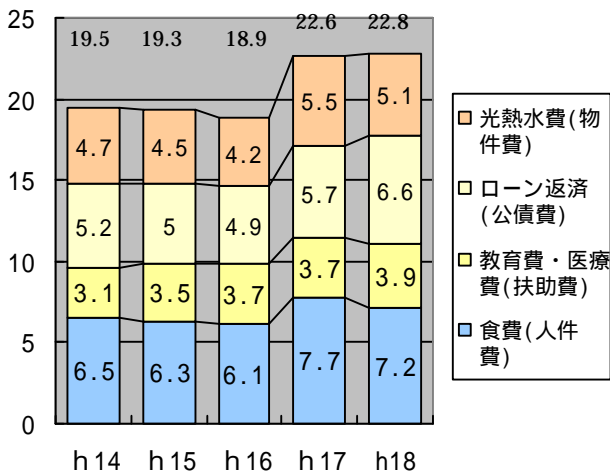
(単位：万円)



注：1～3ヶ月目の数値は旧石狩市のみ、4ヶ月目以降の数値は合併後数値

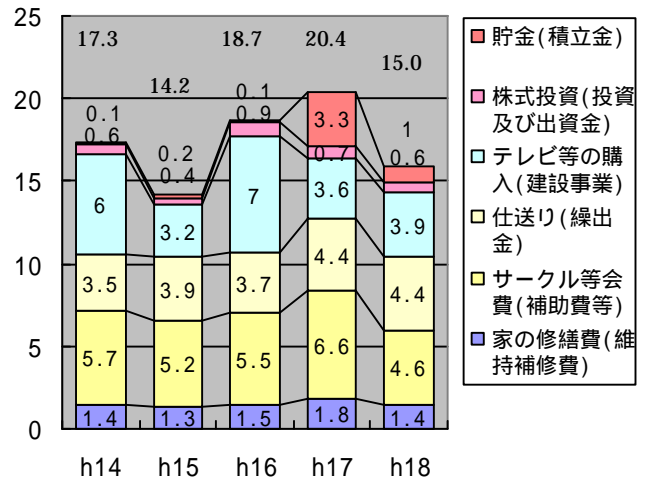
毎月必ず支払わなければならないお金

(単位：万円)



必要に応じて支払うお金

(単位：万円)



(お母さんから一言)

5ヶ月間という期間をきめて、基礎体力を徹底的につけるの！そのためには、出費の重荷になっているローンの返済をどんどん減らすため、新規のローンを極力組まないように気をつけるわ。

また、他の出費についても、その経費が必要なのかを毎月点検して、無駄が出ない仕組みをつくるわ！

4 おわりに

いしかりの家計簿を作成して5年目（家計簿上は5ヶ月）になりました。
この間、三位一体の改革や3市村合併による財政構造の変化に対して対応してきました。

今回策定した「財政再建計画」は、これまでの動向を踏まえ、今後の石狩のあるべき姿を映したものとなっています。「家計簿」において、今後この計画の進み具合がどうなっているか、お父さん・お母さん・特会さんを通じてお知らせして参りますので、これからの動向についても引き続きご覧下さい。

また、今後さらに創意工夫を重ね、内容の充実に努めてまいりますので、お電話やFAX、Eメールなどで「いしかりの家計簿」を読んでものご感想をお聞かせ願いたいと思います。



発行：平成19年 11月

編集：石狩市財政部財政課

TEL：(0133)72-3154

FAX：(0133)75-2275

E-mail：zaisei@city.ishikari.hokkaido.

〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30番地2

